

UHC ハイレベルフォーラム 2025 : UHC ナレッジハブを通じた

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジへの新たな共同コミットメント(仮訳)

1. 片山 さつき 財務大臣
2. 上野 賢一郎 厚生労働大臣
3. アジェイ・バンガ世界銀行グループ総裁
4. テドロス・アダノム WHO 事務局長

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) とは、すべての人々が、必要とする幅広い質の高い保健サービスを、必要な時に、必要な場所で、経済的困難を伴うことなく利用できることを意味する。UHC の達成は、人権及び公平性の観点から不可欠であるのみならず、健康で生産的な労働力を支えることにより、包摂的かつ持続可能な経済成長の基盤ともなる。また、より良い教育成果、貧困の撲滅、強固な社会保護、すべての人への平等といった、人間開発に不可欠な基盤に寄与する。日本は 1961 年に国民皆保険制度を通じて UHC を達成し、社会の安定と高度経済成長に寄与したが、この経験は、経済発展の初期段階における UHC 推進の重要性を示している。2014 年～16 年の西アフリカでのエボラ出血熱の流行及び 2020 年からの新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックは、UHC が保健システムの強靱性及び公衆衛生上の緊急事態への備えにとっても不可欠であることを強く再認識させた。

しかしながら、多くの国で重大な課題が残されている。2023 年には 46 億人が依然として基本的な保健サービスを利用できておらず、2022 年には 21 億人が医療費の自己負担のために経済的困難を経験しており、最貧層や脆弱な人々が不均衡に影響を受けている。これらのギャップに対応するため、各国が保健財政制度を強化することで、保健サービスの質を向上させるとともに、人々を過度な経済的負担から保護する必要がある。

このような背景の中で、日本財務省、日本厚生労働省、世界銀行グループ (WBG)、世界保健機関 (WHO) は、2025 年 12 月 6 日、東京において第 1 回 UHC ハイレベルフォーラム (以下、フォーラム) を開催し、UHC ナレッジハブ (以下、ハブ) を共同で立ち上げ、UHC に向けて前進するという共通のコミットメントを改めて表明した。

フォーラムの共催者および参加者は、財務当局と保健当局の連携、国レベルでの各国の行動、UHC ナレッジハブ等の重要性を強調した。

財務当局と保健当局の連携は、UHC の推進に不可欠である。強固な公共財政管理を通じて国内資源の動員と資金の効率的な運用を促進するため、両当局の緊密な連携は、保健財政システムを強化する上で非常に重要である。日本は長年にわたり、財務当局と保健当局の連携を積極的に推進しており、2019 年には G20 議長国として、初の財務大臣・保健合同セッションを開催し、2023 年には、G7 議長国としてもこのパートナーシップを強化してきた。ハブの設立及びフォーラムの開催は、財務当局と保健当局の連携強化における新たな節目を示すものである。

国レベルの各国の行動に関しては、先進国における財政制約や複雑化する多国間協力の中で、より国主導で自立的な保健システムへの移行の必要性が著しく高まっている。この文脈において、国家保健コンパクト (パートナーの支援を受けつつ国が主導するビジョン) をフォーラムで発表した 15 か国によるコミットメントは称賛に値し、今後も多くの国が続くことが期待される。これらのコンパクトは、国々が、デジタル技術の活用や、官民双方の医療提供者との協働を通じて、

どのようにプライマリ・ヘルス・ケアを強化するかを示すものである。これらのコンパクトは、公平で持続可能な保健財政システムの構築を支援し、UHC に係る SDGs 目標および WBG の目標である 15 億人に質の高い手頃な医療サービスを提供する目標に向けた進展を促進する。パートナーや民間セクターとの協力は、国の強い主体性を補完する。

国主導の取組みを実施するためには、その実施を担う財務・保健当局の能力強化が必要である。この点で、ハブは開発途上国の財務省・保健省の幹部職員に対する保健財政の能力構築において重要な役割を果たす。研修プログラムは、研修参加国と共に開発し、各国の主体性や国ごとのニーズを重視する。我々は、初回研修プログラムに参加した 8 ヶ国（カンボジア、エジプト、エチオピア、ガーナ、インドネシア、ケニア、ナイジェリア及びフィリピン）を歓迎するとともに、将来、他の国々と連携することを期待する。

ハブは、必要に応じ、地域開発金融機関、国際協力機構、民間セクター、慈善団体、市民社会、学術界、その他関係機関と連携し、技術支援・資金支援を含め、研修参加国の保健財政政策の実施を支援する。また、ハブは、UHC 達成に向けた政治的モメンタム強化のためのアドボカシーの推進においても主要な役割を担う。ハブは、アドボカシー、研修プログラム、そして実施支援を組み合わせ、グローバルヘルス・アーキテクチャの構築において重要な役割を果たす。

今後、フォーラムは 2027 年に開催される国連総会 UHC ハイレベル会議やその他の関連会合を見据え、ポスト 2030 アジェンダに関する国際的議論の形成において重要な役割を果たす。日本政府は、世銀、WHO と共に、東京においてフォーラムを定期的に開催し、ハブの進捗状況をレビューし、その活動を改善する方策を特定し、国家保健コンパクトなど国主導の取組みの実施に向けた指針及び支援を提供する。更に、本フォーラムは多様なステークホルダー間の協力を促進し、UHC 達成に向けたモメンタムを促進していく。